

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1998年(平成10年)2月5日 No.1081

目次

1997年のロシア経済	音羽周	1
—マクロ経済の安定化と構造改革の遅れが鮮明に—		
キーパーソン		8
ロシア副首相の管轄分野に関する補足／8		
連邦破産局長官を正式に任命／9		
北オセチア共和国の大統領選結果／9		
統計速報		10
データフラッシュ／10		
ホームページ拝見(15)	ロシア中銀ホームページの英語版完成	10
CIS諸国通貨の最新為替レート		10

1997年のロシア経済

—マクロ経済の安定化と構造改革の遅れが鮮明に—

要旨

1. ロシア統計国家委員会はこのほど、1997年の同国の経済実績を発表した。本号では、このデータを詳しく紹介しながら、1997年のロシアの経済パフォーマンスを分析する。
2. 1997年のロシア経済は、GDPがわずかながらプラスに転じ、ソ連崩壊後、初めてマイナス成長に終止符が打たれた。だが、1年間の経済パフォーマンスのバランスシートは、マイナス要因がプラス要因を上回っており、本格的な経済回復とはいいがたい。
3. プラス成長に主に貢献したのは、鉱工業生産の回復であり、従来の外需依存の生産パターンから内需依存の生産パターンへの移行がみられる。
4. 鉱工業生産実績については、“非公式”経済セクターの統計上の処理をめぐって評価が異なる。
5. 投資活動は依然低迷しており、インフレの沈静化および金利の低下も今のところ遊休資金を実体経済に向かわせるまでに至っていない。
6. 1997年には国内資本不足を補うことが期待されている外資の流入が大幅に伸びたが、政府の税対策の弱さを根拠に、国際信用格付機関のロシアのレーティングはきわめて厳しく、ロシアの投資環境の改善のために政府は抜本的な構造改革を行う必要がある。